

愛のある言葉で

西条市立西条南中学校 2年 杉原 朋
(杉原 朋さんが1年時に書いた人権作文)

今年の夏、四年に一度世界中が盛り上がるオリンピック・パラリンピックがパリで開催されました。しかし、多くのアスリートが華々しく活躍する裏で、悲しい出来事がニュースになりました。それは、SNSを使って選手や審判に対して誹謗中傷の言葉が投げつけられていたことです。一人や二人の話ではなく、多くのアスリートや運営に携わっている方々が、その言葉により傷付けられました。このニュースを聞いて、私はどうしてそんなにも簡単に酷い言葉を全世界に発信することができるのだらうと不思議に思いました。

私が一番多く見かけたコメントは、男子バレーボール選手に対しての誹謗中傷でした。私自身が、バレーボール部に所属していることもあり、どの試合も応援していました。だからこそ、納得のいかないコメントがたくさんありました。オリンピックが始まる前から、注目を浴びている選手が多かったこともあり、勝利まであと一点という場面で、ミスをした選手に対し、「大事なところで失敗したらだめでしょ。」というコメントがたくさんありました。でも、「攻めにいった結果だ。」という人もいます。両方の意見を見ていて、世の中にはバレーボールを経験したことがない人は山のようにいるということに気が付きました。人はそれぞれ、経験値も違えば考え方も違います。だからと言って、一生懸命頑張っている人に対して酷い言葉をかけていいという訳ではありません。他のスポーツや出来事でも同じです。その競技のことやその選手たちがどれだけ頑張ってきたかを知らないのに、簡単に人をけなしたり傷付けたりすることは間違っています。オリンピック選手も人間です。そして、オリンピックに出場している選手は誰よりも努力してきた人たちです。そして、誰にでも失敗はあります。昔からアスリートに対して酷い言葉を投げつけるようなことがなかったわけではありません。現在、それがSNSで可視化され、ずっと残ってしまい本人に届いてしまうようになりました。有名人や著名人になら、誰が言ったかもすぐにはばれないし、酷い言葉をぶつけても大丈夫という誤った考えを持つ人も少なくありません。そういう考えをなくしていかなければ誹謗中傷による事件はなくならないと思います。

他にも、女子ボクシングでは性別を巡る問題により攻撃の対象になってしまう選手がいました。私もその話を聞いて、戸籍上は女性でも体格が男性のままなので戦う相手が怖いと思ってしまうのは仕方がないことなのではと思いました。実際に、怖くなり棄権した選手もいたそうです。攻撃の対象となった選手は、インタビューで「私は誰に何と言われようと女よ。」と宣言していました。その選手もこれまでずっと誹謗中傷されながら必死に女性として戦ってきたんだと知りました。女子ボクシングの性別問題は、オリンピック前から議論があり、勝手に性別について公表されるなどプライバシーの侵害でも問題視されています。女性であることを否定するような考えがSNSで流れることで女性差別につながり、また、トランスジェンダーの方に対する差別にもつながっています。その選手が、ボクシングをしながら、辛い思いをして頑張ってきたことを知ると、私はいろいろなことが難しく感じて周りの私たちがしっかりと考えなければならぬと感じました。

誰にでも文句を言ったり、意見を言ったりする権利はあります。でも、不特定多数の人に見られるSNSに書き込んで人を傷付けて何になるのか、私は疑問に感じます。この言葉を発したら、相手や周りの人がどう感じるのかを考えて言葉を選ぶ必要があると思います。ただ、客観的に見れば中傷になる言葉も、立場が違えば、正当な考えだと思える人もいます。そんなことを考えると、より言葉を選ぶ必要があると感じました。言葉は便利なものですが、時に刃となります。自分の口から出ている刃物を相手に向けたときに、どれくらい相手にダメージを与えるのか。それを考えて言葉を選ぶべきです。有名人でも誰でも、同じ人間だから、酷いことを言われたら傷付きます。これからは、それを意識して言葉を使ったら嫌な気持ちになる人はいないかなど、言葉を見直して発信することが大切だと思いました。パリオリンピック・パラリンピックで誹謗中傷の対象になった選手には、これから負けずに堂々と戦ってほしいと思いました。日本バレーボール協会の方が、「選手たちを愛のある言葉で応援してください。」と訴えかけていました。世界中から誹謗中傷の被害で苦しむ人がいなくなることを、SNSや世界中の人たちが発信する言葉が愛のある言葉であふれることを願っています。

出典:「令和6年度 人権意識を高めるための作品集」からの人権作文
(西条市・西条市教育委員会 西条市人権教育協議会)

公民館だより

2026年
2月号
令和8年

よしい

吉井地区12月末人口 前月比		
男	1,092人	(-3人)
女	1,140人	(±0人)
計	2,232人	(-3人)
世帯数	1,074戸	(-3戸)

発行 ▶ 西条市吉井公民館
〒799-1363 西条市玉之江235-2
TEL・FAX: (0898) 64-3001 / E-mail: yoshii-k@saijo-city.jp

WEB サイト ▶ <https://www.city.saijo.ehime.jp/soshiki/syakaikyoku/yosii-index.html>



とうとうさん

〈1/4,1/10:まき〉

自治会や老人クラブ、愛護班など地域の方の協力で各地区でとうとうさんを作ることができました。



〈1/12,1/18:はやし〉

風が強く冷える日でしたが、無事にはやすことができました。今年も元気に過ごすことができますように。



★ 子ども教室 『わなげであそぼう』 ★

1月14日(水)、吉井小児童クラブのみなさんと輪投げを楽しみました。シニアクラブの方が先生となって投げ方を教えてくれたり、採点をしてくれました。年齢を問わず遊べる輪投げで、また一緒に遊びましょうね。



NEW 新しい本が入りました

- 「汝、星のごとく」 風良ゆう
- 「みんなで決めた真実」 似鳥鶏
- 「よむよむかたる」 朝倉かすみ
- 「二十四五」 乗代雄介
- 「どうせ世界は終わるけど」 結城真一郎
- 「ありが」 瀬尾まいこ
- 「マカン・マラン」 古内一絵
- 「おすしがあるたびにでた」 田中達也
- 「エツコさん」 昼田弥子
- 「にぼしとかつおのこころあんしん絵本」
くまみね・本田恵子

●できごと●

二十歳の集い

令和8年1月11日(日)、丹原文化会館で「西条市二十歳の集い」が開催されました。節目を迎えられた皆様、おめでとうございます。これから歩む未来に何が起ころうとも、胸を張って自分らしく輝いてください。



おめでとう
ございます

凧あげ大会で入賞!

1月10日(土)、東予運動公園多目的広場で西条市子ども凧あげ大会が開催されました。吉井小学校から参加した次の児童が入賞しました。

★ 愛連協会会長賞 来海 陽太さん

来年も、自分が作った世界にひとつだけの凧で、ぜひ大会に参加してくださいね。

●作品展示のお知らせ●

吉井絵手紙サークル作品展

■期間 2月1日(日)～3月1日(日)

■場所 東予南地域交流センター

吉井絵手紙サークルは、毎月第2金曜日
9:00～12:00に吉井公民館で活動しています。

●社協吉井支部より●

お礼

次の方からご厚志を頂きました。お礼を申し上げますとともに、故人へのご冥福をお祈りいたします。

高瀬 哲男様 (高瀬 ヤス子様 ご遺族)

門松の贈り物



仕事始めの日、公民館の玄関に門松が届けられていました。その美しさと立派さに力をもらい、気持ち良く2026年をスタートすることができました。

●他施設からのお知らせ●

東予南地域交流センター 作品展示発表会

【開催日時】 令和8年2月28日(土)
9:30～15:00まで

【開催場所】 東予南地域交流センター

【作品展示団体】

センター教室(陶芸、カントリークラフト、手しごと)
東予南子ども園の園児による作品

【お茶席】9:30～14:00

前売り券:1枚300円 (当日券:1枚350円)

【手しごと体験コーナー】9:30～無くなり次第終了
筒の中に、ビーズや押し花色紙を入れて
万華鏡を作ろう! (300円)

【問合せ先】
東予南地域交流センター TEL:65-6680

●吉井小学校より●

「まもるくんの家」訪問のお知らせ

平素から、吉井小学校の児童の安全確保へのご配慮をいただき誠にありがとうございます。
さて、日頃の感謝の気持ちをお伝えするため、児童が「まもるくんの家」へ訪問する予定です。ご多忙の折とは存じますが、ご自宅で児童の言葉に耳を傾けていただけると幸いです。

【日時】 2月12日(木) 14:30～15:30
雨天時:2月19日(木) 14:30～15:30

ご不在の場合は手紙をポストに投函させていただきます。よろしく願いいたします。

まもるくんの家は、子どもを犯罪から守るため、通学路等にある家を緊急時の避難場所として提供しているものです。一時的な保護と警察への通報により、犯罪被害の防止を図っています。

吉井公民館は
まもるくんの家です。

●西条市からのお知らせ●

民生児童委員は令和7年12月1日に一斉改選しました。

吉井地区民生児童委員は、下記のとおりです。
民生児童委員は、守秘義務があるので相談内容や個人情報が漏れることはありませんので、安心してご相談ください。
詳しい内容は、2月市広報誌及び市ホームページをご覧ください。

氏名	担当区域
篠原 三重	今在家
渡邊 環	広江
山内 幸恵	石田新田
近藤 真里江	玉之江東
近藤 啓子	石田本郷
宇摩木 一幸	玉之江西
佐伯 貴彦	主任児童委員
日野 貴博	主任児童委員

【問い合わせ先】生活福祉課 総務福祉係 TEL0897-52-1288

～ 2月 行事予定 ～

●開館日 ➡ 毎週月～金曜日 9:00～17:00 ●休館日 ➡ 毎週土・日曜日, 祝日, 年末年始

日	月	火	水	木	金	土
1 休館	2	3	4 びん・スプレー缶	5	6	7 休館
8 休館	9	10	11 休館 建国記念の日 古紙	12 吉井カフェ 13:30～15:00	13	14 休館 カフェミ号 13:40～14:10
15 休館	16	17	18	19	20	21 休館
22 休館	23 休館 天皇誕生日	24	25	26	27	28 休館

石田短歌会

草焼きてまきてくれたる豌豆のすくすく育つ師走の庭に
院長の定期検査の報告は良きも悪くももう年令だから
穏やかな小春日和に離れ住む六つ違ひの弟氣遣ふ
木目込みにかつて十二支作りたり巳に代え子馬飾りて置きぬ

山内美佐子
森田 薫
徳永吉則
相原サツキ